

# 佐賀県保険医新聞

第200回 九州ブロック会議

## 「保険証を残せ！」 運動などについて問題点を共有・検討

5月12日(日)に第200回保団連九州ブロック会議が福岡県保険医協会会議室でWEB併用で開催されました。九州各県から多数の参加があり活発な意見交換が行われました。佐賀協会からは会場参加は新井良一、副会長(保団連理事)、千葉研介・藤瀬恭平・各常任理事と事務局、WEB参加は藤戸好典会長、中山利浩副会長、梅津健太郎、古賀聖祥・中島雅典・野田芳隆・山口宏和各常任理事、今村洋一理事と私の合計13人が参加しました。以下一部抜粋してご報告いたします。

### 1 情勢報告・討論 ①「保険証を残せ」運動

・マイナカードについて世界では廃止になっている国もあり、イギリスでは政権交代で廃止になっている。日本でも政権交代してマイナカードを廃止にしてほしい。

・地元ニュースの中でマイナ保険証問題について福岡協会の林裕章会長のインタビューや保団連会員アンケート結果などが報道された。保険証廃止反対と並行してカードリーダーの保守、点検料や代替機を政府に保証してもらうことも伝えていただきたい。

・マイナ保険証の利用率に疑いを持っている。受療権の侵害というこ

とも含めて患者団体、医療機関側から国に対して賠償訴訟できないか。

・東京協会で訴訟している。各団体や協会でもできる所は進めて宜しいと考える。

・受療権侵害の視点で九州ブロック全体としてマスコミ懇談、マスコミ会見するのは、いかがか。

・マスコミ懇談する際はマスコミの選択も必要

②診療報酬をめぐる情勢と改定対策について

・質上げを診療報酬の中に持ち込むことは非常に問題

・ベースアップ加算が明確に記載され、患者に憤りを感じる

・ベースアップ評価料について医療機関の労使関係に厚労省が首を突っ込むのは筋が通らないのは、施設基準届出により1人の患者が同じ医療を受けたときに支払額が違うこと

・生活習慣病管理料、外来データ提出加算のセミナーを延べ4回開催し、2000人が参加

・歯科施設基準セラリングを点数改定に含わせて更新予定(長崎)

・コロナ5類移行で5年ぶりに無料健康相談を開催し、地下水問題について市民公開講演会

・保険証存続を求める陳情採択は3自治体(沖繩)

・その他、今年9月末で原則義務化されるオンライン請求について意見交換がされました。

3 次回の九州ブロック会議は2024年9月1日(日)にWEB併用で福岡協会で開催します。博多駅前で宣伝行動も予定しています。(理事 古賀 俊六)

・開催した。新点数説明会はWEB参加が主流(熊本)

・帯状疱疹ワクチン助成拡充を求める要請書を県に提出した(鹿児島)

・調査資料をもとに議会要請し県弁護士会に集会参加、メッセージ、署名依頼を行った(佐賀)

・保険証存続を求める陳情採択は3自治体(沖繩)

・その他、今年9月末で原則義務化されるオンライン請求について意見交換がされました。



発言する佐賀協会の新井副会長

2 各協会の活動報告  
・24年改定について緊急

### 佐賀県保険医協会役員選挙公示

佐賀県保険医協会会則および役員選挙規定に基づき、下記の通り役員選挙を行います。

- ① 役職名、定数：理事30名、監事2名
- ② 選挙日時、会場：8月31日(土) 15:00～、ホテルマリタール創世(佐賀市)
- ③ 立候補資格：候補者および推薦人は、選挙日現在で1年以上の会員資格を有していること。また同一医療機関で勤務する候補者は各区分2名まで。
- ④ 立候補・推薦の届出方法：8月30日17時必着で立候補届または推薦届を事務局に提出すること。また被推薦人の承諾書も同日までに提出すること。
- ⑤ ④に係る届出用紙は協会事務局より受け取ること。

発行所  
佐賀県保険医協会  
佐賀市駅前中央1-9-45  
(大樹生命佐賀駅前ビル4F)  
電話 0952(29)1933  
FAX 0952(23)5218  
HP <http://saga-doc.jp>  
[hoken-i@star.saganet.ne.jp](mailto:hoken-i@star.saganet.ne.jp)  
購読料 1部 200円  
送料込 年間2,400円  
(会員の購読料は会費に含まれています)


### 協会会員数

内科	653人
歯科	331人
合計	984人

(5月31日現在)

## 第43回 定期総会のご案内

**市民公開講演会**  
(入場無料・WEB(Zoom)配信併用)



講師 **住江 憲勇氏**  
[保団連名誉会長]

演題 「社会保障の危機」

会場 **ホテルマリタール創世**  
佐賀市神野東2-5-15 ☎0952-33-5511

日時 **8月31日(土)**

* 総会議事	15:00~15:50
* 市民公開講演会	16:00~17:30
* 懇親会	17:40~

参加費…無料(配偶者の方も一緒にご参加いただけます)

### 主な記事

- ・子ども医療全国ネットワーク集会…2面
- ・保団連 第15回 勤務医交流会…2面
- ・2023年度 新規個別指導における指摘事項等(佐賀県 歯科)…3面
- ・2024年度の指導等に関する資料(佐賀県 歯科)…3面
- ・経営「設備投資の促進税制とは」…5面

### 曙

余暇に趣味として畑を作っている。自分で作った野菜は何ともいえずおいしい。日本の食料自給率は38%といわれているが、飼料用の作物や、化学肥料、農薬、種の輸入を考えると10%を切る。最近、不耕起栽培が話題になっている。耕さずに種や苗を植えるだけである。肥料も農薬も使わず作物ができるなんてそんなバカなと思われ方が多いと思うが、それには十分理由がある。例えば▼もちろん草刈りや刈った草を肥料にする仕組みはあり、ミミズやバクテリアを利用する。また農業や化学肥料を使わないところには自然の生物防除の循環が形成され、過度な害虫の被害は起きなくなる。益虫のクモやテントウムシ、小鳥も増える。夕方になると蚊の犬群が押し寄せるが、トンボの群団があつと言う間に処分してくれる▼雑草は有害ではなく、むしろ有益である。その緑が炭酸同化作用で自然に酸素を供給してくれる。日照りによる乾燥を防ぎ、気温の上昇を抑え、その根が大雨時に土が流されるのを防いでくれる▼大都市を除く、地方都市や田舎であれば耕作放棄地やちよつとした土地を見つけてくれるであろう。趣味で畑作りをすれば、ストレスの発散にもなるし、食料自給率の向上にもなる。有機農業、無農薬でやれば地球環境の改善にもなると思ふ。

(ヤータン)